

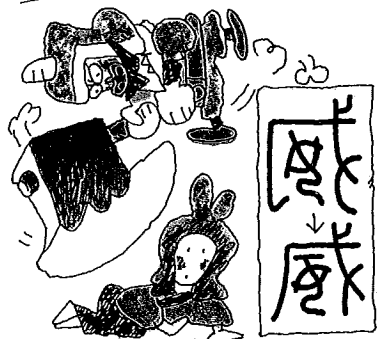
# 威

イ

はねる

9画 ㄣ ㄥ ㄥ ㄥ 威 威 威

なりたち 鉞(きん) (大形の斧(おの)の本字の戊(ご)と女との会意形声字。か弱い女を鉞で、おどすことを表した字。威(い)す・畏(おそ)れること。また、強い勢い・厳(いそ)めしい・厳(いそ)かの意味。



いみじゆく

威(い)す。恐れさせる。威嚇(いこく)：人をおどしつけること。

威風凛凛(いふうりんりん)射撃(しやうげき) 威圧(いあつ)：権力や威力(いかり)で恐れさせて押さえつけること。用例 相手を威圧する眼光(げんこう)。

脅威(きょうゐ)：おどすこと。おびやかされること。用例 背後(はつち)からの脅威(きょうゐ)に備える。

強い勢い。

威勢(いせい)：①人を恐れさせ、服させる力。②元氣(げんき)。勢い。

威光(いこう)：人が自然と敬(うやまつ)い服するような力や勢い。

威信(いしん)：威光(いこう)と信望(しんぼう)。用例 威信を高める。

いかめしい。厳(いそ)か。

威嚴(いげん)：堂々(どうどう)として厳(いそ)かな様子。

用例 威嚴(いげん)に満ちた態度(たいど)。

威風(いふう)：威嚴(いげん)があつて立派(りっぺい)な様子。

用例 威風堂々(いふうどうどう)。

よみかた 威儀(いぎ)・威力(いかり)・權威(いけん)

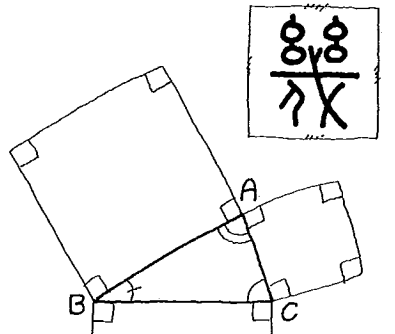
# 幾

おんキ

いく

12画 ㄨ ㄨ ㄨ ㄨ 幾 幾 幾 幾 幾 幾

なりたち 結(むす)を表し、幽人と戈(ご)とで「武器をとって守る」意味の成(なり)との会意字。兵士は微(ひこ)かな兆(めい)しに注意する。微かな兆(めい)しに注転じて、「幾らか」の意味。



いみじゆく

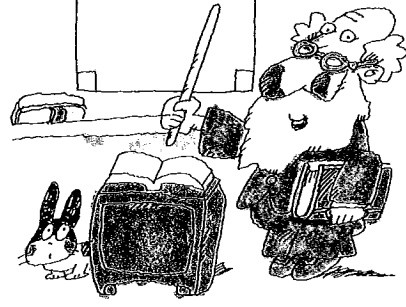
幾(いく)らか。いくつか。

幾何(いくが)：「幾何学(いくがく)」の略。物の形や大きさ、位置など、空間の性質を研究する数学の分野。

幾重(いくえ)：①幾つもの重なり。②重ね重ね。用例 幾重にもお願い致します。

幾多(いくた)：幾つもの。数多くの。用例 幾多の困難(くわんなん)を克服(くわふく)して成し遂げられた事業(じぎやう)。

幾分(いくぶん)：少し。ある程度。



# 幾機

# 域

イキ

6画

11画 ㄥ ㄥ ㄥ ㄥ 域 域 域 域 域

なりたち 本字は或(ある)都市(とし)を中心(ちゆうしん)に一定(いちてい)の限(かぎ)られた領土(りやうど)を表した亘(へん)と、これを守る軍備(ぐんぴ)を表した戈(ご)との会意字。限(かぎ)られた領土(りやうど)の意味。或(ある)は「と」という使(つか)い方をさし、これと区別(くべつ)するため「域」となった。



いみじゆく

限(かぎ)られた土地(とち)。

区域(くいきん)：区切(きり)つたある一定(いちてい)の場所(ばしょ)。

用例 制限(せいげん)区域(くいきん)。

地域(ちいきん)：他の場所(ばしょ)から区別(くべつ)され、ひとまとまりの場所。

例 地域社会(ちいきんしゃい)。

流域(りゅういきん)：川の流(なが)れに沿(よ)った地域。

例 荒川(あらかわ)流域(りゅういきん)。

境界(くわんがい)：①土地(とち)の境(さかい)。②他(た)と区分(くわんぶん)される、ある範囲(はんい)の地域。

神域(しんいきん)：神社(じんしゃ)の境内(けいん)。

域内(いきん)：区域(くいきん)の内部(うちぶ)。範囲(はんい)の中(なか)。

地方(ちほう)。

西域(せいやく)：中国(ちゆうごく)から見た西方(せいほう)の地域(ちいきん)。

玉門関(ぎよもんかん)・陽関(やうかん)から西(にし)という。広義(くわんぎ)ではペルシア(ぺるしあ)など中近東(ちゆうきんとう)の国々(こくご)を含む。

異域(いいきん)：異国(いこく)。外国(がいこく)。

ある限(かぎ)られた範囲(はんい)。

音域(おんいきん)：声(こゑ)や楽器(がくぎ)の、出(で)せる音(ね)の範囲(はんい)。用例 音域(おんいきん)が狭(せま)い。

芸域(げいいきん)：芸(げい)の範囲(はんい)や程度(ていど)。

# 機

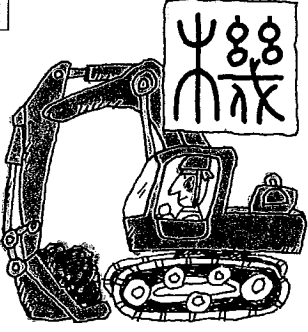
はたキ

はた

4画

16画 ㄥ ㄥ ㄥ ㄥ 機 機 機 機 機 機 機 機

なりたち 微(ひこ)かな兆(めい)しの意味(いみ)の幾(いく)と、木(き)との会意形声(かいいけいしやう)字。微かな兆(めい)しが大事件(だいじけん)の結(むす)きをするための「仕掛け(しかけ)機械(きかく)」を表した字。また、「兆(めい)し。きつかけ」の意味。また、「織(おり)機(はた)」の意味。



いみじゆく

仕掛け(しかけ)。装置(ちゆうち)。

機械(きかく)：動力(どうりき)によつて動き、あ

る仕事(しごと)をする装置(ちゆうち)。

機関(きかん)：①動力装置(どうりきちゆうち)。エンジン。

②ある目的(もくどく)を果(は)たすために設(た)けた組織(しきそ)。

機構(きこう)：①機械(きかく)の構造(こうぞう)。②組織(しきそ)の仕組(しきぐみ)。

機器(きき)：機械(きかく)・器具(きぐ)類(るい)の総称(そうしやう)。

きつかけ。分(わ)かれ目(め)。

動機(どうき)：動き(うご)きつかけの意味(いみ)。

物事(ものごと)をやる気(き)になつたきつ

かけ。

転機(てんき)：列(れつ)の状態(じょうたい)に移(うつ)るきつ

かけ。分(わ)かれ目(め)。

▼ちようどよい時(とき)。

時機(とき)：物事(ものごと)をするのにちようどよい時(とき)。好機(こうき)。機会(きかい)。

待機(たいき)：時機(チャンス)が来るのを準備(じゆんび)して待つこと。

▼重要(じゆうじやう)。

機密(きみつ)：重要(じゆうじやう)で秘密(ひそか)なこと。

機密(きみつ)：重要(じゆうじやう)で秘密(ひそか)なこと。